

季刊

社会福祉法人  
名古屋市総合リハビリテーション事業団

# オレンジロード

ORANGE  
ROAD

2016年  
冬号  
vol.8

## INDEX

- ◆スポセンわくわくフェスティバル2015
- ◆自立支援部および  
高次脳機能障害支援説明会
- ◆ヘルパー事業所研修会in刈谷
- ◆福祉用具・介護ロボット展示&体験会
- ◆平成27年度の介護ロボットに関する  
取り組みについて
- ◆イベント情報
- ◆募集・事業所案内

発行：季刊オレンジロード編集委員会



# スポセンわくわくフェスティバル 2015

平成27年12月6日（日）に、障害者スポーツセンターで「スポセンわくわくフェスティバル2015」を開催しました。これは、昨年まで開催していた夏の「納涼祭」と冬の「クリスマスフェスティバル」を統合したもので、体育室だけでなく館内全体を会場とした新しい形での開催となりました。

体育室にあるメインステージでは、高針台中学校合唱部の澄み渡る歌声でオープニングが始まり、ダンス披露、実行委員会の紹介、バンド演奏、仮装コンテスト、クリスマスプレゼント配布等のイベントが行われました。

体育室には、実行委員による飲食物の屋台が並び、あっという間に品物が売り切れてしまう屋台があるほどの盛況ぶりでした。

また、新しいイベントとしてスタンプラリーを企画しました。1階の体育室内のブースや2階の障害者スポーツ体験コーナー、クリスマスリース工作ブースにスタンプコーナーを設置し、楽しみながら館内のイベントを回っていただけるようにしました。

スタンプラリーは、子どもや家族連れの方に大人気で、歓声を

上げて楽しそうにスタンプを押す姿が見られました。

統合して初めての開催であったため、集客数や進行に不安がありましたが、例年より多くの方が来場され、メインステージの企画、餅つき、紙工作、スポーツ体験、リース工作等のイベントも滞りなく行うことができました。

来場者の多くは地域の子どもや親子連れであったため、地域の方とのつながりを感じることができ、地域の方との交流を目的とした地域交流事業として大変良いフェスティバルとすることができました。

会場の準備や当日の運営にご協力いただいたボランティアの皆さま、ありがとうございました。



## 自立支援部および 高次脳機能障害支援説明会

平成27年10月21日（水）と平成28年2月17日（水）に、名古屋市総合リハビリテーションセンターで、自立支援部（障害者支援施設〈生活支援部門、視覚支援部門、就労支援部門〉、障害者就労支援センターめいりは）および高次脳機能障害支援の説明会を開催しました。



自立支援部門と高次脳機能障害支援部門について合同で開催したこと、主に病院関係者や相談支援事業所の方を対象に実施したことが今年度の特徴です。

参加申し込みは、受付開始後2日間で定員（各50名）に達してしまうほどで、あらためて当センターが期待される役割の大きさを実感しました。

説明会では、事業内容や利用対象者、利用の流れなどの

説明と、施設や訓練の見学を行い、参加者から「見学等を通して施設の具体的なイメージができて紹介しやすくなった」「高次脳機能障害の支援方法を学べて良かった」との感想をいただきました。

今後もこのような広報活動を行い、関係機関との連携の強化に取り組んでいきたいと考えています。



## ヘルパー事業所研修会 in 刈谷

平成28年1月10日（日）に、刈谷市心身障害者福祉会館で、ヘルパー事業所研修会を行いました。この研修は、高次脳機能障害者に対する地域の支援機関による支援の充実を図ることを目的として、NPO法人脳外傷友の会みずほと共催したものです。講義に加え、疑似体験、DVD視聴、演習など、参加者が高次脳機能障害をイメージでき、実践しやすい内容で行いました。



午前は、高次脳機能障害の特性と対応、生活場面で見られる高次脳機能障害の講義の後「かなひろいをしながら事前に指示のあったことを行う」という疑似体験を行いました。

午後は、DVD視聴、個別支援計画や障害程度区分認定調査マニュアル（高次脳機能障害バージョン）などの様式の説明、支援手順書作成演習、対応方法の演習を行いました。

研修会には、ヘルパーだけでなく、事業所の管理者や相談支援に携わる方など15名の参加があり、参加者から「具体的で分かりやすかった」「援助は本人が主人公であることを忘れないようにしたい」などの感想をいただきました。

今後も、高次脳機能障害者の地域生活を支援できるよう、研修や地域の支援者と連携を図っていききたいと考えています。





平成28年2月19日（金）に、イオン八事店4階イベントスペースで、なごや福祉用具プラザによる「地域介護者教室 福祉用具・介護ロボット展示&体験会」を開催しました。

ここでは、生活の中で活用できる福祉用具や新しく開発

された介護ロボットを展示し、実際に体験していただいたり、公益社団法人日本3B体操協会の坂本千春さんを講師に招き、用具（ボール、ベル、ベルター）を使って音楽に合わせて行う「3B体操」を行いました。

イオン八事店のイベントスペースは、仕切りのないオープンなスペースとなっているため、イオン八事店に買い物に来られた方々に気軽に立ち寄りいただきました。歩行車・軽失禁パッド・電動カー



トーションロボットなどを見て・触れて・体験してもらい、御器所にあるなごや福祉用具プラザの紹介をすることができました。また3B体操では、脳のトレーニングも兼ねた日常の中で簡単にできる体操を実施し、体験された方からは「とても楽しく、時間があっという間だった」との感想をいただきました。

今後もこのような活動を通して、地域の方々に福祉用具や介護ロボット、なごや福祉用具プラザのことを知っていただき、生活の中で福祉用具などを活用してもらえるように取り組んでいきます。

# 福祉用具・介護ロボット展示&体験会



## 平成27年度の 介護ロボットに関する取り組みについて



事業団では、平成25年度から厚生労働省の福祉用具・介護ロボット実用化支援事業として、専門職によるアドバイス支援・モニター調査事業および介護ロボット普及モデル事業を実施してきました。平成27年度は、専門職によるアドバイス支援事業として、自分の声ソフトウェア「ボイスター」（株式会社ヒューマンテクノシステム東京が開発）について、企画研究室、なごや福祉用具プラザ、言語聴覚科、名古屋市身体障害者更生相談所の職員が、①**利用が見込まれる疾患**、②**福祉制度を利用するためのハード・ソフトの条件**、③**介護ロボットへの応用などのアドバイス**を行いました。ボイスターは、ユーザーの声をあらかじめ録音しておく、作成した文章を合成したユーザーの声で読み上げることができるソフトです。現在は必要な録音が多く、高価ですが、将来はより簡単に使用できるものを目指しており、今後の展開が期待されます。

なごや福祉用具プラザを主体とした介護ロボット普及モデル事業では、ロボット関連事業報告会、移動支援機器体験研修会のほか、各種講演会での福祉用具・介護ロボットの展示、子供向けロボットプログラミングワークショップなど、より介護ロボットに触れてもらう機会を設けました。

さらに、介護ロボットなどの普及に向けた取り組みとして、○福祉用具・介護ロボットに関するニーズ調

査、○介護ロボットの開発・利用の考え方の基礎となるICF（国際生活機能分類）学習会、○名古屋ライトハウス戸田川グリーンヴィレッジとなごや福祉施設協会なごやかハウス野跡における見守り支援機器のパイロット導入と導入支援ワークショップ、○リハビリテーションセンター理学療法科、生活支援課における移動支援機器（屋外型）のモニターとミニワークショップを開催しました。



見守り支援機器のワークショップは、メーカー、介護現場、仲介者、学識経験者などが集まって行うもので、介護ロボットの導入・活用・普及のモデルとして、介護ロボット重点分野別講師養成テキスト（テクノエイド協会）にも取り入れられました。

今後も事業団では、事業団内外の関係機関の協力を得ながら、介護ロボットに関する事業を進めていきたいと考えています。



# イベント情報

● 参加申込は終了しましたが、興味のある方は観覧にぜひお越しください ●

## ● 第34回東海障害者卓球大会 サウンドテーブルテニスの部

日時：平成28年3月13日（日）9:30～17:00（予定）

場所：名古屋市障害者スポーツセンター体育室（名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地）

## ● 第19回スポセン・カローリング大会

日時：平成28年3月20日（日）13:00～17:00（予定）

場所：名古屋市障害者スポーツセンター体育室（名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地）

## ● 第13回名古屋市障害者スポーツ大会（陸上競技・フライングディスク・レクリエーションの部）

日時：平成28年5月8日（日）9:30～15:00（予定）

場所：パロマ瑞穂スタジアムおよびパロマ瑞穂レクリエーション広場（名古屋市瑞穂区山下通5-1）

詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

問合：名古屋市障害者スポーツセンター

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

上記の他、大会情報は随時事業団ウェブサイトに掲載します。詳細につきましてはそちらをご覧ください。



● 参加申込受付中 ●

## ● 前期家族介護者教室「寄り添う介護」

名古屋市内東部・北部・西部・南部・中部で実施。各4回。

対象者、申込方法等詳細は事業団ウェブサイトまたは下記問い合わせ先へ。

問合：なごや福祉用具プラザ

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056



事業団ウェブサイト

<http://nagoya-rehab.or.jp>

# 事業団職員大募集

## 「私たちと一緒に働きませんか」

▶現在募集中

嘱託職員 病棟業務補助、生活支援員補助

### お問い合わせ先

社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団

総務部総務課 採用担当

〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話番号 052-835-3811

最新の募集情報、待遇の詳細は事業団ウェブサイトをご参照ください。

事業団ウェブサイト <http://nagoya-rehab.or.jp>



## 事業所案内

・名古屋市総合リハビリテーションセンター

・福祉スポーツセンター

・障害者就労支援センター めいりは

〒467-8622

名古屋市瑞穂区弥富町字密柑山1番地の2

電話：052-835-3811 FAX：052-835-3745

・瑞穂区障害者基幹相談支援センター

・地域活動支援センター つきみがおか

〒467-0035 名古屋市瑞穂区弥富町月見ヶ岡5

NTT西日本八事ビル1階

電話：052-835-3848 FAX：052-835-3743

なごや福祉用具プラザ

〒466-0015

名古屋市昭和区御器所通三丁目12-1

御器所ステーションビル3F

電話：052-851-0051 FAX：052-851-0056

名古屋市障害者スポーツセンター

〒465-0055

名古屋市名東区勢子坊二丁目1501番地

電話：052-703-6633 FAX：052-704-8370

西部リハビリテーション事業所

〒453-0855

名古屋市中村区烏森町六丁目298番地

電話：052-486-2400 FAX：052-471-3710